

# 内なる国際化目指す

## 中国人学生が職場体験

廃棄物処理やビルメンテナンス、指定管理者としての施設運営などを展開するホームメックス（錦町、餅原幹也社長）で世界的なNPO法人アイセック・ジャパン（東京）のインターンシップ制度を利用して、中国人大学生が職場体験を行っている。同社は「地域密着ビジネスが柱だが、今後国際社会を意識した事業を展開



ホームメックスでのインターンシップ修了を前に振り返る湯さん＝豊田・錦町のホームメックス本社で

## ホームメックスが初実施

したい」と初実施。「海外に行くだけが国際化ではなく、日本にいながら外国人と仕事をすること」で刺激が与えられたら」と期待を寄せる。今回の試みを再検討し、今後の導入を決める方針。

8月8日に来日して1カ月あまり。上海対外経済貿易大学院生の湯亜琴さん（23）は18日の帰国が

感の高さ、丁寧なサービスなど学ぶことが多かった」と振り返る。湯さんは安徽省出身。日本のアニメや文化に興味が湧き、パナソニック

年前から日本語を学ぶ。来年3月の大学院修了を前に「この目で日本と企業の様子を見てみたい。特に中国の環境問題は深刻でこの分野でホームメックスは先進的な取り組みをしていると知り、日本の違いを見たい」とNPOのインターンシップを通じて同社に応募した。

この1カ月間、湯さんは廃棄物処理や指定管理者制度で委託管理を受ける公共施設での仕事ぶりなど現場を見学。会社概要やごみの分別方法などを中国語に訳し、中国人が営む飲食店への飛び込み営業にも同行。「これまで日本語の案内を置いてくる営業で遠慮気味だった店に対し、中国語で説明し数人のオーナーが聞いてくれた」（同社）

「報道されるように中国人とひとくくりにするのはなく、人それぞれと接したい」と同社。特に湯さんは日本人が何を考えているか空気を読み配慮しながら行動を取っていたことなどから同僚も優しく接した。

「修了後は日本企業で働きたい」と笑顔で話す湯さん。ホームメックスで

【後藤真一】